

みずほCustomer Desk Report 2025/02/04 号(As of 2025/02/03)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	155.72
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	155.40	1.0245	159.26	1.2303	0.6141
SYD-NY High	155.90	1.0350	160.12	1.2455	0.6237
SYD-NY Low	154.01	1.0125	157.99	1.2249	0.6089
NY 5:00 PM	154.76	1.0342	160.06	1.2448	0.6228

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,421.91	▲ 122.75	日本2年債	0.7200%	0.0000%
NASDAQ	19,391.96	▲ 235.48	日本10年債	1.2400%	0.0000%
S&P	5,994.57	▲ 45.96	米国2年債	4.2489%	0.0435%
日経平均	38,520.09	▲ 1,052.40	米国5年債	4.3599%	0.0282%
TOPIX	2,720.39	▲ 68.27	米国10年債	4.5510%	0.0092%
シカゴ日経先物	38,945.00	▲ 450.00	独10年債	2.3870%	▲ 0.0720%
ロンドンFT	8,583.56	▲ 90.40	英10年債	4.4895%	▲ 0.0445%
DAX	21,428.24	▲ 303.81	豪10年債	4.3700%	▲ 0.0610%
ハンセン指数	20,217.26	▲ 7.85	USDJPY 1M Vol	9.97%	0.41%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	10.17%	0.39%
NY金	2,857.10	22.10	USDJPY 6M Vol	10.06%	0.32%
WTI	73.16	0.63	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.51%	Yen Call Over
CRB指数	308.91	3.96	EURJPY 3M Vol	10.69%	0.70%
ドルインデックス	108.99	0.62	EURJPY 6M Vol	10.45%	0.46%

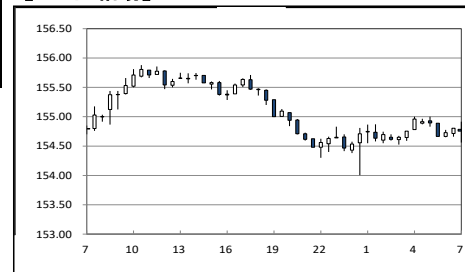
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月3日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	政策金利変更は2%の物価安定目標実現に向け必要と判断された	
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -0.1%	-0.7%
	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	1月 50.1	50.6
	17:55	独 製造業PMI・確報	1月 45	44.1
	18:00	欧 製造業PMI・確報	1月 46.6	46.1
	19:00	欧 CPI速報値(前年比/前月比)・速報	1月 2.5%/-0.3%	2.4%/-0.4%
	23:45	米 製造業PMI・確報	1月 51.2	50.1
2月4日	00:00	米 建設支出(前月比)	12月 0.5%	0.2%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 50.9	50
	00:25	米 シェインパウ・メキシコ大統領 発言	米トランプ大統領と会話し、関税発動は1か月先送り	

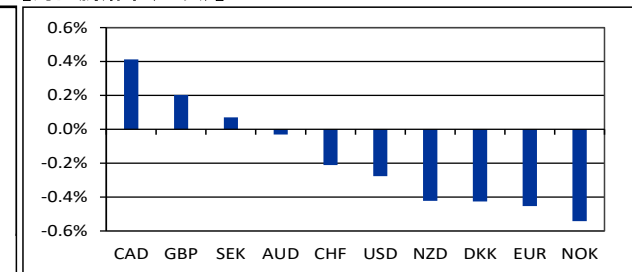
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月5日	00:00	米 製造業受注(前月比)	12月 -0.8%	-0.4%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	12月 -	0.2%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	12月 -2.2%	-2.2%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	12月 0.3%	0.3%
	01:00	米 ボス・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 デリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.80-155.80	1.0200-1.0350	158.00-161.00

【マーケット・インプレッション】

海外市場のドル円相場は、米国の関税表明によるリスクオフの円買いの動きを見せ一時154.01円をマーク。市場の関心はメキシコ、カナダ、中国が米国とどのような交渉を行うかに集まっており、米ISM製造業の結果は良好だったが反応は軽微だった。日本時間の明け方にかけてメキシコ、カナダの関税発動が1か月延期されたとの報道を受けて、市場に安心感が広がり154.76円でクローズ。本日のドル円相場は、引き続き米国関税関連のヘッドラインに振られよう。足元のステータスはメキシコ、カナダが交渉テーブルについたにすぎず、さらなる協議の内容によってはトランプ政権が強硬な態度を示す可能性がある。中国との交渉も、どのようなものになるかはまだ不透明なところもあることから、市場の方向性を見出すには時期尚早であり様子見か。

東京	東京時間のドル円は155.40レベルでオープン。日銀金融政策決定会合の主な意見が公表されるも特段反応はなし。仲値近辺にかけてはトランプ米大統領の関税政策が意識されてか、ドル買いが進み東京時間の高値155.88をつける。その後は円も他通貨に対して買われたこともあり、レンジ内で上値重く推移。結局、本日のスタートと同水準の155.38レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.38レベルでオープン。米関税政策によって買われていたドルが売り戻される。一時154.30円まで下落した後反発し、結局154.54レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0245レベルでオープン。ユーロ圏1月CPI速報値は市場予想を上回ったものの市場への影響はほとんど見られず、結局1.0259レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台後半でスタート。先週発表されたトランプ政権による関税案の実施を受け、世界株安を懸念した円買いが優勢となり、154.54レベルでNYオープン。午前中に発表された米1月ISM製造業景況指数が予想を上回るも、米株の軟調な展開が重しとなり、154.01まで下落。しかし、その後トランプ大統領が対メキシコへの関税案の発動を1か月延期する事を発表すると、一転リスクオン・モードとなり、154.80付近まで戻す。午後は米金利が上昇幅を拡大する動きに追随し、155.00まで上値を伸ばす。その後は買い一巡となり、154.76レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.04台半ばでスタート。トランプ政権による関税案の実施を受け、リスクオフを背景とした独金利の低下に伴い、1.0125まで下落。その後はユーロ圏1月CPIが予想程減速していなかった事等を受け徐々に戻し、1.0259でNYオープン。午前中は先述のトランプ米大統領が対メキシコへの関税案実施の延期発表を受け、ドル売り地合いから1.0340付近まで反発。午後は米政権が対カナダへの関税案も少なくとも1か月延期するとの発表を受け、1.0350まで上値を伸ばし、その後1.0342でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。